

カリキュラム

機構施設名: 沖縄職業能力開発促進センター  
 実施機関名: 株式会社テクノ経営総合研究所

B. 組織マネジメント	組織力強化	ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善
-------------	-------	----------------------------

コースのねらい	IT分野で用いられている技法により、業務プロセスとデータの流れを見える化することで業務のムダを発見し、業務改善への活用や業務のシステム化への活用について理解する。
---------	---

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 業務とデータの見える化とは	(1)業務におけるデータとは何か【演習あり】 ・何のためにデータをとるのか？ ・業務の目的と成果指標 ・データは業務の状態を示す事実 【演習】現業務の目的を言語化、その良し悪しを図るデータはなにか？ (2)業務とデータの見える化の必要性【演習あり】 ・感覚で管理する限界。忙しさは、価値ではない。 ・価値とは何か？ データで見える価値。 ・【演習】データで、どのように価値を図るのか？ (3)テーブルとデータの関係について【演習あり】 ・テーブルとはなにか？データの層別 ・データを集める目的とテーブルの関係 ・テーブル構築の良い例、悪い例	2.0
	2 業務とデータの見える化技法	(1)業務を可視化する各種技報【演習あり】 ・可視化の方法 業務フロー、SIPOC ・可視化の最も簡単な手順 【演習】自業務の可視化 (2)ビジネスプロセスモデルの概要【演習あり】 ・ビジネスプロセスとは ・業務フローとビジネスプロセスモデル (3)モデリングの必要性 ・モデリングとは？ なぜ図にするのか？ ・モデリングした時に見えてくること	1.5
	3 業務プロセスの見える化と継続的改善	(1)BPMNIについて【演習あり】 ・BPMNとは ・BPMNの基本記号を知る 【演習】業務フローとBPMN (2)ムダの削減と最適化【演習あり】 ・ムダ・問題とはなにか？ ・ムダ・問題を見る観点とは 【演習】自業務の中でムダ・問題の発見 (3)業務プロセスの作成と継続的改善、IT化【演習あり】 ・ムダ/問題の解決とPDCA ・ムダはIT化してもムダのまま ・IT化すべきポイントの見極め 【演習】明日からの業務の見える化方法を検討する	2.5
		合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント	様々な業種により、業務の目的、改善の対象は異なります。この訓練では、多種の業界の参加者がいる前提で作成しました。 どんな業界においても改革の進め方、データの見方の根本に流れるポイントは共通しています。KPIの設定→数値を測定する→目標を阻害する要因を業務フローおよびデータから特定する→データを見ながら改善のPDCAを回す→目標達成まで諦めずに継続する。この流れを体験できるようにします。 基本訓練を実施する中で、①自分ごと化、②思考の言語化、③討議により他者視点からの気づき、④講義のみではなく体験による腹落ちを重要視いたします。具体的には、BPMNなどの手法を用いて、自分たちの仕事を“描いてみる”ことで、属人化や非効率の原因が具体的に見えてきます。自部署の業務を整理し、ムダの削減やIT・生成AIの活用に向けた改善の一步を自ら設計できるようになることを目指します。
---------------	---